

## 十戒シリーズ: 第六戒 “殺してはならない”

### 「命を大事にする」

出エジプト記 20:13

2017.07.30 HKJCF

1

### 概観

十戒の第六戒を通して、神の形に似せて造られた人間の命の尊さ、殺人について、また聖書から、聖絶、戦争、死刑、安楽死などの倫理問題について、正しい福音理解を学んでいきたい。

#### アウトライン

1. 殺人: 謀殺と非謀殺について
2. 代行: 聖絶と戦争について
3. 主権: 死刑と安楽死について
4. 適用: 怒りと軽蔑について

2

### 1. 殺人: 謀殺と非謀殺について

- 1) **殺す**: 「前もって計画的に、意図的に、殺意をもって」。過失死、故殺ではない。
- 2) **神の形と血: 命の尊さ**(創世記 1:27; 9:4-6)。**血の大切さ**(創世記 4:10-12; 民数記 35:33-34)。
- 3) **律法の罰**: 謀殺者に**死刑**(レビ記 24:17; 出エジプト記 21:12-14); 非謀殺者は**逃れの町**。
- 4) **律法の恵み**: **逃れの町**のおきて(民数記 35:10-15)。6つの町(ヨシュア 20:7-9)。復讐と冤罪と賄賂の防止(民数記 35:22-25; 35:30-32)。負の連鎖、**罪の蔓延**の防止。

3

### 2. 代行: 聖絶と戦争について

- 1) **聖絶**: 聖なる国民として、**神の裁きの代行**を一時的に任された(申命記 20:16-18)。
- 2) **恵みの時間**: 実行されるまでアマレク人が**回心する時間**が与えられている(申命記 25:17-19; I サムエル 15:1-3)。
- 3) **十字軍や聖戦**: 教会史の汚点。イエス様の方法(ヨハネ 6:14; マタイ 28:18-20)。
- 4) **戦争**: WMD(大量破壊兵器)、核兵器、ドローン戦争の時代。良心的兵役拒否(Hacksaw Ridge)。

4

### 3. 主権: 死刑と安楽死について

- 1) **主権は神様にある**: 命は**神様から**(ヨブ 1:20-21)。**神の時**がある(伝道者 3:1-2)。
- 2) **死刑**: 第六戒は死刑を除いている。冤罪などで**不完全**だが、認められている制度。
- 3) **回復・更生** > **処罰**: 死刑は最後の手段。神と人の**関係が回復**するように。**やり直しや悔い改めのチャンス**。
- 4) **安楽死**: **聖書の真理** > 国の法律。神様より**先走ってはいけない**。医者は人を助け、救う職業。**人の命** > 動物の命。

5

### 4. 適用: 怒りと軽蔑について

- 1) **行為より、心の問題**: **罪の本質**に気づく(マタイ 5:21-22)。聖さ、救いの基準。
- 2) **怒り**: **自己中心**、期待はずれの表れ。殺人や戦争の根本的な理由。到達できないからこそ、**十字架の救い**が必要。
- 3) **軽蔑**: 能なし、ばか者: 能なし(ラカ、頭が悪い) → **最高議会**。ばか者 → **ゲヘナ**。
- 4) **神の国**: **愛、喜び、平安**などで満たされている所。憎しみや怒りのない場所。作り話ではなく、期待できる**新天新地**。

6